

大崎町の行政改革は まず職員の研修・意識改革から



中山 美幸議員

先般の住民投票説明会や戸別訪問の中で、町民の方々より私たち議員や議会・行政に対する批判や行政改革を求める意見が多く出されております。そこで今回は改革の中でも職員の意識の改革に絞って質問します。はじめに本町の研修の状況はどのように実施されているのか伺います。

クラス別に 各種研修を実施

町長

自治大学校に置ける長期研修、県への派遣研修、新規採用者の研究、この研修は「あすばる大崎」にお

きまして2週間における現場研修、職員研修所における研修など行っております。主任クラス・係長クラス・課長補佐クラス・

課長級・現業職員などの研修を県自治研修センターで実施いたしております。本年度は約30名の職員が参加しております。研修終了職員の代表者が朝礼の中で研修結果を報告するなど取り組んでおります。又、政策形成能力向上研修、全職員を対象にした人権教育研修・マナーアップ研修などに取り組んでおります。

研修結果の測定は

中山議員

大崎町の研修に関する規定の中で研修結果の測定を行うという項目がありますが、研修結果の測

定を実施されたことがあるか伺います。

測定は

実施していない

総務課長

研究結果の測定という形では実施しておりませんが、復命を町長まで決済をもらうよう指導し、先ほど町長の答弁にありましたように、研修のいくつかは毎月一日の朝礼の中で職員に発表してもらっております。

福祉施設研修は

中山議員

本町の研修の中で福祉施設の体験研修が実施されたと思いますが、現在はどうですか。

良い研修だが
現在はやっていない

町長

全職員を対象にして寝たきり高齢者の方々の介護を実験体験しようとして実施いたしました。初めての事でありましたが、受け入れ側も積極的に受け入れていただき、研修に参加した職員も今までの行政の中で考えていなかった体験をし、驚きや勉強になったとの感想をもらっておりますが、現段階では実施しておりません。

挨拶・駐車場 最低限のマナーから

中山議員

東市来町では2泊3日で農家に泊まりこんで農業体験をする。現在の職員の方々の中には出身は農家であっても実際は農業経験は無く、通常の農家の気持ち・商売をされていらっしゃる方々の気持ちを理解されている職員は少ないのではありませんか。又、宇検村では「住民か

町長

ら挨拶が十分に出来ない職員が多くなってきた」との苦情から自衛隊に体験入隊をさせている。という話を聞き、本町職員の方々の様子を良く見てみましたが、本日の出会う職員の中にもネームを装着していない方もおられるのではありませんか、依然決められていた職員の駐車スペースの問題も現在守られておりますか。

守るよう 喚起をうながし 良い環境を作ります

総務課長

たしかに、そのような配置を予定いたしました。現在それが守られているかどうか確認できておりません。そのような事実があるならば、先ほど町長が答弁いたしましたようにマナーとしての最低限のルールは守つていただきたいということですので、再度メール等を流して喚起をうながしたいと思います。

研修ということで現場研修それぞれの実態を体験すべきだ。その中で町民の方々が慣れあいとしてやつていらっしゃる事が理解できるし町民の心が理解できるのではないかといった質問です。なかなかそのような機会がありませんが、今後取り組んでいきたいと思えます。初任者研修のときが一番やりやすいということがあります。日常業務をやっておりますと深くやつていけないという事もあります。民間等での研修とかその職員が行政のなかで、そういった事をわかました人材として育ていき、次の世代に引き継いでいくといったような事は大事でありますので、担当課と十分協議し真に住民と一体となった住民の考えを吸収できるような環境がたくさんいるような環境作りに努力いたします。